





3年	整数のかけ算	2位数×2位数の習熟を図る
【ねらい】 2位数×2位数(部分積が2, 3桁で繰り上がりなし, あり)の筆算の仕方を理解し, その計算ができる。(クイズの答えをだし, きまりを見つけるために, 楽しみながら筆算の練習をたくさん行うことができる。)		

課題	『A Bどっち』クイズをしよう。 (59×46)は「A」かな? 「B」かな?	AとBには, どんなきまりがあるのかな。							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93×79</td> <td>23×12</td> </tr> <tr> <td>32×44</td> <td>19×44</td> </tr> <tr> <td>26×74</td> <td>13×27</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	93×79	23×12	32×44	19×44	26×74	13×27
A	B								
93×79	23×12								
32×44	19×44								
26×74	13×27								

既習事項	どちらも2桁のかけ算だ。筆算でできるよ。	「A」のほうが, 数が大きい気がする。A Bのきまりは答えの大きさかな?	「B」のほうの数に1が多いよ。計算すればきまりがわかるかもしれない。										
	 筆算してもいいですか。	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>19</td></tr> <tr><td>× 12</td><td>× 44</td></tr> <tr><td>46</td><td>76</td></tr> <tr><td>23</td><td>76</td></tr> <tr><td>276</td><td>836</td></tr> </table>	23	19	× 12	× 44	46	76	23	76	276	836	
	23	19											
× 12	× 44												
46	76												
23	76												
276	836												
<table border="1"> <tr><td>93</td><td>32</td></tr> <tr><td>× 79</td><td>× 44</td></tr> <tr><td>837</td><td>128</td></tr> <tr><td>651</td><td>128</td></tr> <tr><td>7347</td><td>1408</td></tr> </table>	93	32	× 79	× 44	837	128	651	128	7347	1408	分かった! 「A」は答えが千の位までであるけど, Bは百の位までだ。		
93	32												
× 79	× 44												
837	128												
651	128												
7347	1408												

指導上の留意点

- 最初の段階ではカードを伏せておく。

自力解決	 筆算してもいいですか。	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>19</td></tr> <tr><td>× 12</td><td>× 44</td></tr> <tr><td>46</td><td>76</td></tr> <tr><td>23</td><td>76</td></tr> <tr><td>276</td><td>836</td></tr> </table>	23	19	× 12	× 44	46	76	23	76	276	836	
	23	19											
× 12	× 44												
46	76												
23	76												
276	836												
<table border="1"> <tr><td>93</td><td>32</td></tr> <tr><td>× 79</td><td>× 44</td></tr> <tr><td>837</td><td>128</td></tr> <tr><td>651</td><td>128</td></tr> <tr><td>7347</td><td>1408</td></tr> </table>	93	32	× 79	× 44	837	128	651	128	7347	1408	分かった! 「A」は答えが千の位までであるけど, Bは百の位までだ。		
93	32												
× 79	× 44												
837	128												
651	128												
7347	1408												

では, 問題です。59×46は「A」かな? 「B」かな?

- 計算させる前に, どんな数の計算なのかに注目させる。この段階で児童の気づきを板書しておく。

1 気づいたことを話し合う。

「A」「B」について, 何かきまりはありましたか? 隣の人と話し合ってみましょう。

答えの大きさが違うよね。「A」は千の位に数字が行くよ。繰り上がって千の位まで書いていいのかな。

59×46は答えが千の位までいくけど, Aなのかな。

- 「A」「B」の基準を見つけるために, 児童は意欲的に6問の計算練習を行う。そこで見つけた基準を隣同士やグループで話させ, 全員に説明する機会を与える。

2 計算の方法について話し合う。

<table border="1"> <tr><td>59</td></tr> <tr><td>× 46</td></tr> <tr><td>354</td></tr> <tr><td>236</td></tr> <tr><td>2714</td></tr> </table>	59	× 46	354	236	2714	236はどこに書けばいいのかな。
59						
× 46						
354						
236						
2714						
	236は本当は59×40=2360です。だから千の位に繰り上がって書きます。					

- 繰り上がりがあることを確認し, 桁が増えていっても繰り上がっていけば計算できることを確認する。

3 59×46の答えをA Bに分類する。

では, 59×46は「A」「B」どっち?

- ・ 答えを確認する。



今日は答えが千の位までの筆算を学習しましたが、今までの筆算と同じところ、違うところはどこでしょう。



一の位から順に計算していくのは同じです。



答えが千の位にいくところが違います。



答えが千より大きくなっても、計算の仕方は同じでしたね。

もっと大きい数になっても、かけ算の筆算でできるかなあ。問題を作ってやってみたいな。



● 答えが大きくなっても、計算方法が変わらないことを確認するとともに、児童からの「もっと大きな数でも出来るかなあ」等のつぶやきを大切にしていく。

まとめ

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- ・ いろいろな計算問題を作って、ABどっちクイズをする。